

## 社会科学習活動案

### 1 単元名 明治の国づくりを進めた人々

#### 2 単元について

本単元は、「日本の歴史」を構成する小単元の中の1つで、学習指導要領では、第6学年の内容(2)(ケ)「黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを手掛かりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解すること。」に相当する。ここでは、幕末から明治維新における諸改革について知り、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことがわかるようにすることをねらいとしている。

これまでの歴史の学習において児童たちは「人物の働き(人)」「代表的な文化遺産(もの)」「歴史上の事象(こと)」には深いつながりがあることについて学んできた。特に人物の働きに注目し、その人物がどのようなことをしたか、なぜそうしたのか、社会や人々にどのような影響を与えたかなどの問いをもち、国家・社会の発展や優れた文化につながっていると気付くことができた。本単元では、約260年間も続いてきた江戸幕府が終焉を迎え、明治という新しい時代を築いていくという非常に大きな歴史の転換期を扱う。このような大きな変化が起こった背景には、一体どのような人物がどのような思いや願いをもって躍動したのかを考え、人・もの・ことをつながりを意識して学習を進める。幕府側、開国派、新政府、江戸時代に武士だった人々、政党をつくった人々など、それぞれの立場の思いや願いをおさえることで明治の国づくりにはどのような思いや願いが込められていたのかを考える。

本単元の導入では、1860年頃と1880年頃の日本橋近くの様子が写った絵を比較し、わずか20年の間に大きな変化が起こっていることに気付かせる。「どうしてこんなに大きな変化が起こったのだろう」という児童の大きな驚きと疑問が学習問題の設定につながるようにしていく。

この大きな変化が起こる上で「幕府」「新政府」「民衆」がそれぞれどのように考え、何をしたのか、どうなったのかについて予想しながら学習計画を立てていく。そして、明治の国づくりを進める上で「幕府」「新政府」「民衆」のそれぞれの考え方をおさえるために、必要な人物を精選して学習を進めることで大きな時代の流れをおさえていきたいと考えている。

その際に欠かせない明治維新のキーワードは「欧米の進んだ文化を取り入れた」「富国強兵」「近代化」であると考え。黒船の来航や下関戦争などを通して「欧米の進んだ技術を日本も学ばなければならない。」と悟った勝海舟などが新しい国づくりへの動きに出たことで、急速な時代の変化が起きたことをとらえさせていきたいと考える。また、渋沢栄一のように欧米への使節団として実際に欧米に住む人々の豊かな暮らしを見た人たちは、日本も欧米の進んだ文化を取り入れようとしたこともおさえる。明治政府の中心として富国強兵の国づくりを進めた大久保利通の思いが反映されて近代化した日本へと変わっていったことを理解できるようにする。

本学級では、出来事と出来事をつながりを確認したり、時系列をまとめたりするために単元の最後に「歴史すごろく」を作るようにしている。さらに友達と一緒にすごろくを通して歴史的な流れを確認することで、楽しく歴史学習に取り組めているため、本単元でも学習のまとめとして取り組もうと考えている。

3 児童の実態 (男子17人 女子17人 合計34人)

① 歴史の学習は好きですか。

好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない
17	13	2	2
<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな人物がいたのかを調べたり学んだりするから 12</li> <li>・どのように日本が発展していったのかを考えられるから 9</li> <li>・どんな出来事が起こったのかがわかるから 7</li> <li>・今の生活につながっているところがあるから 6</li> <li>・歴史の謎について友達と考えを話し合えるから 4</li> <li>・歴史上の人物の気持ちを考えてみるとおもしろいから 3</li> <li>・ゲームや本とのつながりを感じながら学べるから 2</li> <li>・予想したことと違う出来事があった時がおもしろい 2</li> <li>・興味がなかったが、学習していて好きになった 1</li> <li>・争いが起こった理由を知れておもしろい 1</li> <li>・昔から残っている物に興味があるから 1</li> <li>・出来事と出来事の間に起こったことを予想するのが楽しい 1</li> <li>・その時代の庶民の気持ちについて考えるのが楽しい 1</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代のニュースについて学ぶことの方に興味があるから 1</li> <li>・出来事の順序がなかなか覚えられないから 1</li> <li>・人物の名前がややこしくて覚えられないから 1</li> <li>・歴史に興味がないから 1</li> <li>・勉強が嫌いだから 1</li> </ul>		

② これまでの社会の学習では、どんなことが楽しかったですか。

・歴史すごろくを作った	33	・歴史の逸話を聞く	2
・歴史上の人物についての学習	16	・年表を書いて歴史の流れをつかむ	1
・友達とお互いの考えを話し合う	13	・地図帳を使って土地を調べる	1
・学習したことを新聞にまとめる	9	・インターネットで調べる	1
・年表を見ながら歴史について学ぶ	8	・みんなで資料を作ること	1
・写真や資料を参考にして考える	7		

③ 資料を読み取ることは得意ですか。

得意	まあまあ得意	あまり得意ではない	得意ではない
7	16	9	2
<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフ・図から、考えを広げることができるから 8</li> <li>・グラフの数値を見て比較することがおもしろい 7</li> <li>・どんな時代だったか想像できるから 4</li> <li>・資料を読み取ればほとんどの問題が解けるから 3</li> <li>・算数に似ていて楽しくなるから 1</li> <li>・地形を見て、戦の様子や戦略がわかるから 1</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年表の出来事を見てもわからない 4</li> <li>・社会に興味がない 2</li> <li>・人物の写真を見てもわからない 1</li> <li>・資料と教科書の内容を関連づけるのが難しい 1</li> <li>・資料を見ても楽しくない 1</li> <li>・グラフの読み取りが苦手 1</li> <li>・出来事が多くて覚えきれない 1</li> </ul>		

④ 開国～明治維新について知っていることを書きましょう。(複数回答)

- ・わからない 30
- ・ペリーに言われて日本と他の国が関係をもちはじめた。3
- ・薩摩と長州が対立していたが、坂本龍馬が仲介して薩長同盟が結ばれた。2
- ・桜田門外の変で井伊直助が暗殺された。2
- ・生麦事件が起きて、薩摩は外国から怒りを買った。2
- ・西郷が大久保と対立して西南戦争が起きた。1
- ・戊辰戦争が起きる。1
- ・たくさんの人の努力のおかげで技術が発達して今の日本へとつながった。1
- ・出世するためならどんなことをしてでも功績を上げようとしているイメージ。1
- ・西洋の真似をする。近代化していく。1

⑤ 武士の時代が終わると、どのような時代がやってくるか予想を書きましょう。

- ・平和な時代がやってくると思う。戦争がなくなると思う。13
- ・外国との貿易や交流が多くなりそう。10
- ・お金で動く世の中になると思う。6
- ・他の国と戦争が始まった。4
- ・意見を言い合って政治を進めていくと思う。3
- ・武士が変わって天皇が力をもち始めると思う。3
- ・貴族が力をもつと思う。3
- ・武士が戦えなくなって、不満が高まるかもしれない。3
- ・様々な物が発明されると思う。2
- ・強い人物が独裁で国をおさめると思う。2
- ・武士の仕事が変わったと思う。2
- ・仲間同士で金をとり合う時代になると思う。1
- ・武士による規制がなくなり、悪質業者が増える。1
- ・自分の意見を言える時代になると思う。1
- ・平等な時代になると思う。1
- ・武士から支持を受けている人物が政府に入る。1
- ・国を守る力を強めていくと思う。1

⑥ 令和6年から新しい1万円札の人物になるのは誰でしょう。

- ・お金が変わることは知っていたが、名前はわからない。16
- ・わからない 8
- ・渋沢栄一 7
- ・野口英世 2
- ・樋口一葉 1

⑦ 渋沢栄一について知っていることを書きましょう。

- |                        |   |
|------------------------|---|
| ・海外で偉業を成し遂げた人          | 3 |
| ・大学をつくった人              | 2 |
| ・たくさんの会社をつくった人         | 2 |
| ・明治時代の経済発展につくした人       | 2 |
| ・外国で流行っていた伝染病の研究をしていた人 | 2 |
| ・電気を発明した人              | 1 |
| ・新しいお金を作った人            | 1 |
| ・日本で最初に銀行をつくった人        | 1 |

#### 【実態調査の考察】

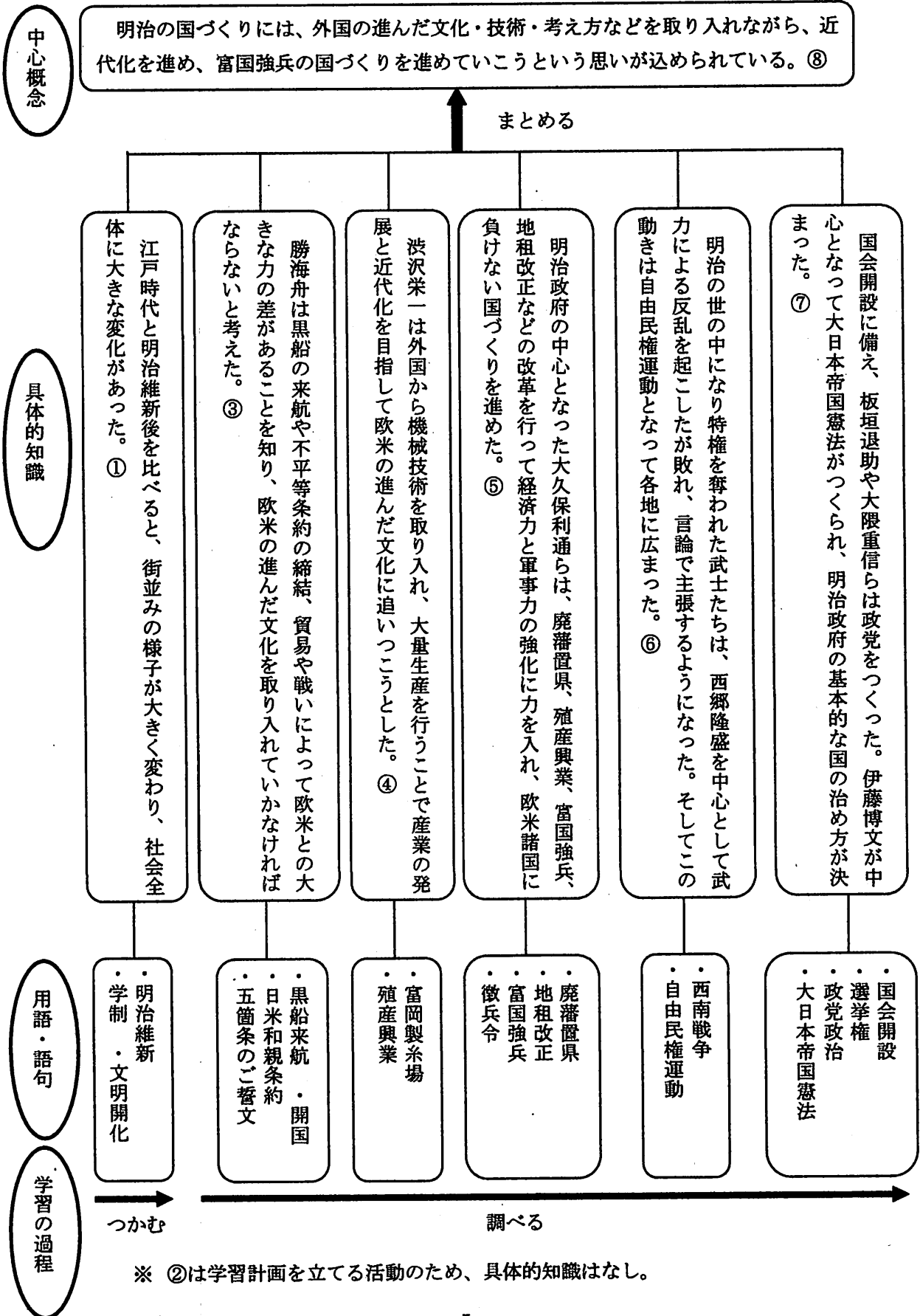
歴史学習が「好き」「まあまあ好き」と答えた児童に多かったのは、人物についての学習が好きという記述であった。その人物がどのような思いをもっていたのかということ資料をもとにして友達と一緒に考えていくところが、歴史学習の面白さであると感じている児童が多いことがわかった。

一方で歴史学習が「あまり好きではない」「好きではない」と答えた児童からは「現代のニュースの方に関心がある」「人物の名前が覚えられない」「出来事の順序がなかなか覚えられない」という声があった。歴史的な事象に関わる人物がなぜそのような行動に出たのかを考え、歴史的背景をおさえていくことで、出来事と出来事とのつながりを理解させるようにしたいと考える。また、現在とのつながりにも触れ、歴史学習が現代社会にもつながっていることや似たような社会事象が繰り返されているということを感じさせることで社会科への学習意欲を引き立てていきたい。

本単元で扱う開国～明治維新について「わからない」と答えた児童は多かったが、「武士の時代が終わると、どのような時代がやってくるか予想を書こう」という質問では、興味深い回答が多かった。まず、「意見を言い合って政治を進めていくと思う」という予想は、武力の世の中から言論の世の中へと変わり、自由民権運動が活発になるという部分につながる。また、「外国との貿易や交流が多くなりそう」「お金で動く世の中になると思う」と予想した児童もいた。開国によって外国との貿易が盛んになり、殖産興業によって日本の経済発展が進む一方、一部の人が富を得た明治の時代背景につながる。この他の児童の予想も明治以降の日本社会の発展と問題点をしっかりと予測できていると思う。児童の予想が広がる問いかけをして、明治維新の時代背景の理解を深めていきたい。

本時で扱う渋沢栄一については、新1万円札に採用された人物なので、近い将来児童にとってとても身近な存在へと変わっていくだろう。ニュースやテレビ番組で取り上げられることもしばしば目にし、児童にとって関心が持てる人物の一人であろう。その渋沢栄一がどのような思いをもって明治維新の殖産興業を進めていったのかということ授業で扱うことは、本学級の児童の学習意欲を高めていくことにつながると実態調査の結果から考える。殖産興業を進め、富国強兵の「富国」の部分に力を入れていたところに気付かせることができるように授業を展開していきたいと考える。渋沢栄一は経済発展に尽くした人物であるので、経済の仕組みについて学習していない児童にとっては難しい内容となる。児童にとって少しでも理解しやすい形で渋沢栄一の思いや考え方に迫っていけるように教材開発に努めていきたい。

4 知識の構造図



## 5 単元の目標

- 黒船の来航、明治維新、文明開化、自由民権運動、政党政治と時代が変化するにつれて、日本が欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことがわかる。
- 明治の国づくりに関わった様々な人物の思いや願い、文化遺産の意味、明治政府が富国強兵の方針のもとで諸改革を行った意味を考えようとする。
- 生活の変化、社会の仕組みの変化、歴史上の出来事などの資料を活用して調べたことをまとめ、自分の考えを表現することができる。

## 6 単元の評価規準

観点	評価規準
社会的事象への 関心・意欲・態度	○黒船来航から明治維新、文明開化などの時代の変化とともに、諸改革を行った明治政府に関心を持ち、日本が欧米の文化を取り入れながら近代化を進めていったことを進んで調べようとしている。
社会的な思考・判断・表現	○明治という新しい時代になって人々の生活が変化したことや我が国を近代化するためにさまざまな諸改革を行った人々の思いや願いについて、調べたことをもとに比較したり関連付けたりして表現している。
観察・資料活用 の技能	○明治という新しい時代になって人々の生活が変化したことや我が国を近代化するために様々な諸改革を行った代表的な人物の働きや文化遺産について、必要な情報を集め、読み取っている。
社会的事象 についての知識・理解	○黒船来航から明治維新、文明開化などの時代の変化とともに、諸改革を行った明治政府に関心を持ち、日本が欧米の文化を取り入れながら近代化を進めていったことがわかっている。

## 7 単元の指導計画

過程	時間	主な学習活動と内容
つかむ	1	<p>○江戸から明治に変わる20～30年間で大きな変化があったことをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸時代と明治時代の日本橋近くの様子を資料から読み取る。</li> <li>・籠が馬車や人力車に変わった。</li> <li>・帯刀が少なくなったのはなぜだろう。</li> <li>・建物が洋風になっている。多くの建物が木から土壁になっている。</li> <li>・「三ツ井」と書いてある。何の会社だろう。</li> <li>・日傘を使っている人やドレスを着ている人がいて、流行が大きく変わっている。</li> <li>・武士がいなくなっている。</li> </ul> <p>○なぜ、20～30年間でこれほどまでに大きく変わったかという疑問をもとにして学習問題を作る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>だれがどのようにして、明治の新しい国づくりを進めたのだろうか。</p> </div>
	1	<p>○既習事項や掲示物をもとに予想を出し合い、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身分制度による苦しみを味わっていた人たちが江戸幕府に不満をもち、明治維新を起こしたのではないだろうか。</li> <li>・欧米人が来るようになって日本の文化に影響を与えたのではないだろうか。</li> <li>・江戸幕府を支えていた多くの武士たちの考え方が分かれたのではないだろうか。</li> </ul>
調べる	1	<p>○勝海舟らはどのように考えて新しい国づくりを進めたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペリーが来航してきて、おそれた幕府は不平等条約を結ばざるを得なかった。</li> <li>・町人や百姓、下級武士の生活は苦しく、人々の不満が高まった。</li> <li>・薩摩と長州は戦を通して欧米との大きな力の差を知り、強い国づくりに向けて薩長同盟を結んだ。</li> <li>・欧米に追いつくためには、欧米と交流して進んだ文化や技術を取り入れていかなければならないと考えた。</li> <li>・勝海舟は「日本人同士が争うのではなく、みんなで協力して新しい国をつくるのが大切だ」と考え、武士たちの江戸城への攻撃を中止させた。</li> <li>・徳川慶喜は大政奉還を行い、政権を朝廷に返した。</li> <li>・明治政府が五箇条の御誓文を定め、明治時代が始まった。</li> </ul>
	1 (本時)	<p>○欧米に学んだ渋沢栄一は日本をどのような国にしたいと思ったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パリ万博の視察を通して、欧米の進んだ文化や考え方を学び、日本にも取り入れたいと考えるようになった。</li> <li>・官営工場の富岡製糸場の経営を支援した。</li> <li>・外観はレンガ造りで、建物自体が文明開化の象徴となっていた。</li> <li>・欧米との貿易で機械を取り入れて、大量生産をできるようにした。</li> <li>・外国人技師を招聘し、欧米の進んだ技術を取り入れようとした。</li> <li>・富岡製糸場の大量生産を支える会社の経営を支援し、経済の発展を促した。</li> </ul>

	1	<p>○明治政府の大久保利通は、どのようにして国づくりを進めたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大久保利通も欧米を視察し、欧米諸国に追いつくための国づくりを進めようと考えた。</li> <li>・政治の方針が日本全体に広まるようにするために、廃藩置県を行った。</li> <li>・富国強兵のスローガンのもと、殖産興業を進めたり、強い軍隊をつくったりして、欧米諸国に追いつこうとした。</li> <li>・武士にかわって訓練された近代的な軍隊をもつために、徴兵令を出した。</li> <li>・国の収入を安定させるために、地租改正を実施した。</li> </ul>
	1	<p>○西郷隆盛ら改革に不満をもった人々は、どのような思いをもっていたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸時代に武士として収入を得ていた人々が立場を失い、生活に苦しむようになった。</li> <li>・明治維新を進めた一人の西郷隆盛が中心となり、西南戦争を起こした。</li> <li>・武力による反発はなくなり、言論で主張する世の中へと変わっていった。</li> <li>・自由民権運動が広まり、国会開設を求める声が高まった。</li> </ul>
	1	<p>○国会の開設や大日本帝国憲法の発布に携わった人々の思いについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由民権運動を進めた人たちは国民の意見を反映させた政治を行う準備をするために、政党をつくった。</li> <li>・ドイツの憲法を学んだ伊藤博文は天皇主権の大日本帝国憲法をつくった。</li> <li>・選挙が行われたものの、選挙権をもっている人間はごく一部だった。</li> <li>・1890年に第一回の国会が開かれ、国民に選ばれた人による政治が始まった。</li> </ul>
まとめる	1	<p>○学習したことを基にしてグループごとに「歴史すごろく」を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に時代の流れを確認しながら作る。</li> <li>・時系列や時代の背景にあるものを確認しながらコマを作る。</li> <li>・様々な人物の働きや思いを書き入れながらコマを設定する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>明治の国づくりには、外国の進んだ文化・技術・考え方などを取り入れながら、近代化を進め、富国強兵の国づくりを進めていこうという思いが込められている。</p> </div>



## 8 市教研社会科研究主題解明のための方策

変貌する未来を切り拓く社会科学習  
～手応えの発見につながる『深い学び』の探求～

(本年度主題解明のための視点)

【研究内容1】「深い学び」に導く単元作り

【研究内容2】「深い学び」に導く授業作り

本単元では、研究主題の中から次の点に留意して指導及び評価に取り組んでいきたい。

【研究内容1】「深い学び」に導く単元作り

### ○学習の中心となる人物に焦点を当てて明治の国づくりを学ぶ単元構成

本単元で扱う明治維新は多くの人物の様々な思いや願いが葛藤し合う中で明治の国づくりが行われていった、歴史の転換期である。そのため、この時代は1人1人の思いや願いをじっくりとおさえていくことが難しい。そこで、調べる過程では学習の中心として取り上げる人物を絞り、「欧米の進んだ文化を取り入れた」「富国強兵」「近代化」という3つのキーワードに結び付ける単元作りを意識していく。

開国して明治時代が始まるまでの学習では勝海舟を取り上げる。江戸末期になると、生活面の苦しみや対外政策への不満から人々の幕府に対する不満が高まった。バラバラになりかけている日本の現状を見て、勝海舟は「外国に負けない国づくりを進めるためには日本人同士が争うのではなく、みんなで協力して新しい国をつくるのが大切だ」と考えていたことをおさえていく。勝海舟の「欧米の進んだ文化や技術を取り入れよう」という思いが明治の国づくりの起点となるように学習を進める。

欧米の進んだ文化や考え方を学び、日本にも取り入れて豊かな国づくりを進めた人物として渋沢栄一を取り上げる。渋沢栄一は様々な会社の経営を経済的に支援した人物である。渋沢栄一が経営を支援した多くの会社の中でも、富岡製糸場を取り上げる。欧米から機械技術を取り入れて生糸の大量生産を可能にしたことと、富岡製糸場に関わる会社の経営を支援することで経済発展を促したことをおさえる。明治維新を進めた人々が欧米諸国への憧れや対抗心をもって改革を進めていたことへとつなげる。

明治政府の国づくりに込められた思いを知るために大久保利通を取り上げる。明治政府は政治の方針が日本全体に広まるように廃藩置県を実施した。また、富国強兵のスローガンのもと、殖産興業を進めたり、徴兵令を出して強い軍隊をつくったりした。さらに、国の収入を安定させるために地租改正を行った。このような明治政府の改革には、欧米視察を通して進んだ文化や考え方を目の当たりにして「欧米諸国に追いつくために富国強兵の近代化した国づくりをしよう」と考えた大久保利通の思いが込められていることをおさえる。

明治時代になって特権を奪われたことで生活に困った武士たちの不満が高まったことをつかむために、西郷隆盛を取り上げる。西南戦争によって武力の時代から言論の時代へと変わったが、彼らの思いが民衆の声である自由民権運動につながったことをおさえる。

このように、学習の中心となる人物たちの思いをおさえていくことで、歴史背景をとらえながら明治維新の国づくりについての「深い学び」へと導いていく。これらの「人物の働き(人)」と「代表的な文化遺産(もの)」、「歴史上の事象(こと)」を関連付けることで「明治の国づくりには、外国の進んだ

文化・技術・考え方などを取り入れながら、近代化を進め、富国強兵の国づくりを進めていこうという思いが込められている。」という本単元のまとめに結び付ける。

### 【研究内容2】「深い学び」に導く授業作り

手立て1 社会事象との出会いや多面的・多角的に考えを深める教材の開発

○欧米の進んだ文化や技術、考え方を取り入れた渋沢栄一の教材化

本時の始めに、「欧米から文化や技術、考え方を学ばなければならない」と明治時代を切り拓いた人々が考えていたことを想起する。欧米視察に派遣されて進んだ文化や考え方を学ぶ人々が増え、その中の1人である渋沢栄一を取り上げる。

渋沢栄一は1867年のパリ万国博覧会を観覧したり、スイスやオランダ、ベルギーなどを歴訪した。整備された上下水道、蒸気機関車、電灯、エレベーターなどの最新機械を目の当たりにして、攘夷派だった渋沢栄一もヨーロッパの優れた点を認めざるを得なかった。特に注目したのが銀行や株式会社であった。人々から資金を集めて大規模な事業を行い、その利益を分け合う資本主義の仕組みを学んだ。また、武士だけが威張っている日本と違い、銀行家や資本家たちが堂々としている姿にも感銘を受けた。このような進んだ文化や技術、考え方を取り入れて「日本を豊かな国にしよう」と思うようになった。

渋沢栄一は様々な会社や組織を経営し、そこで得た利益を使ってさらに新しい事業を起こしたり、インフラを整備したりして経済を活性化させていった。設置主任として経営に関わった富岡製糸場は渋沢栄一の思いが詰まった文化遺産（もの）である。煉瓦で作られた巨大な建物、大量の湯気と大きな音を発する見たこともないような機械、外国人技師の指導で生糸を大量生産する工程は当時の人々を大変驚かせ「魔法を使う工場」と噂されていたという記録が残っている。富岡製糸場で作られた生糸は世界でも評価されるようになり、これに刺激を受けて全国各地で製糸場が作られるようになった。日本における機械工業の先駆けの役割を果たした。

渋沢栄一は富岡製糸場の設置や経営に必要な煉瓦、セメント、ガラス、鉄、原料などの会社の経営にも携わり、経済発展を促すことに成功した。一見、金儲けが目的のようにも見えるがそうではない。常に「道徳経済合一説」を忘れず、「経済発展が人々の利益につながるようにしなければならない」ということを唱え続けていた。晩年には、教育や医療などに力を入れ、多くの学校や病院、孤児院をつくらせている。彼はいつでも「日本人が豊かに暮らせるようにして、外国と対等に向かい合える国にしていきたい」という思いをもっていたことがわかる。このように欧米の文化や技術、考え方を取り入れて日本人みんなの生活を豊かにしようと考えた渋沢栄一を取り上げることで、殖産興業についての「深い学び」につながると考えた。

手立て2 社会認識まで児童の思考が及ぶような効果的な学習問題や発問、資料の掲示や活用の工夫

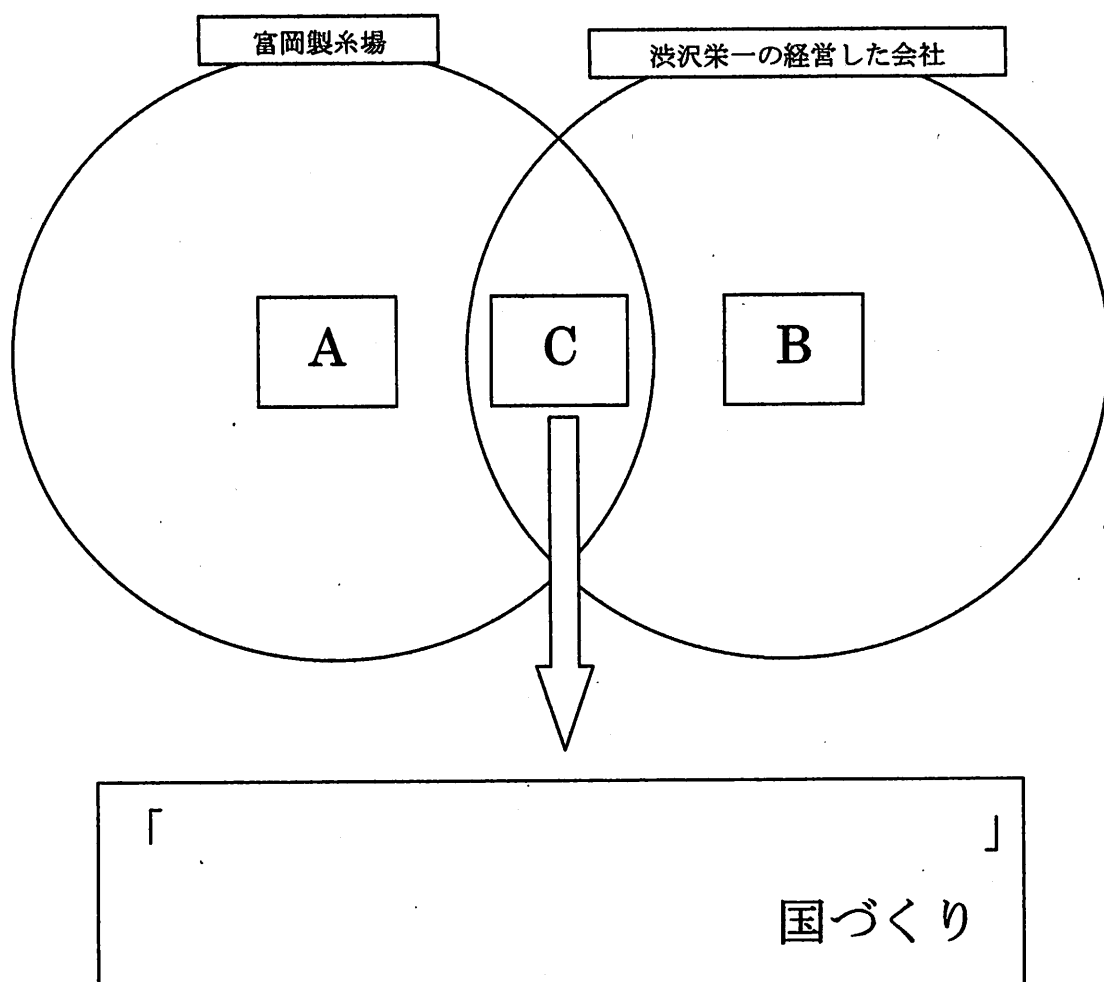
○ベン図を活用した話し合い活動

本時では、「富岡製糸場」と「渋沢栄一が経営を支援した会社や組織表」をもとにして、渋沢栄一がどのような国づくりを進めたのかを考える。1人で資料を見て調べる時間もとるが、グループの友達と話し合う時間をとることでさらに渋沢栄一の目指した国づくりについて深く考えることが必要である。「富岡製糸場」と「渋沢栄一が経営を支援した会社や組織表」の2つの資料の共通点を探りながら話し合いが進められるように、ベン図を活用して話し合う時間をとることとした。

思考ツールの1つであるベン図は、「お互いの考えを出し合う」「共有する」「広げる」「関連付ける」「まとめる」という段階で話し合いを進めることができる。資料をもとにして個人で調べたことを付箋に書き出し、考えを共有する。自分が調べるだけでは気付かなかった事柄にも気づき、考えを広げることができる。そして、「富岡製糸場」と「渋沢栄一が経営を支援した会社や組織表」のそれぞれの資料からわかることを関連付けることで、渋沢栄一が目指した国づくりは「〇〇な国づくり」という言葉にまとめられるようにする。

「富岡製糸場」の資料から多くの機械が立ち並んでいることと、渋沢栄一が機械工場の経営を支援していることから「機械技術の進んだ国づくりを進めようとした」という点に気付けるようにする。また、富岡製糸場の活性化に合わせて富岡製糸場に関連する業種の会社も設立していたことを関連付けることで、「経済が発展した国づくり」を目指したことにも気付かせたい。

最後に、各グループで書き上げたベン図を黒板に掲示し、なぜ「〇〇な国づくり」という言葉にまとめたのかを話すことで全体での共有を図る。本時のまとめでもある「欧米の機械技術を取り入れた」「経済発展を促した」というキーワードに収束していけるようにして全体での話し合いを進め、殖産興業への理解を深めていきたい。



9 本時の指導 (4/8)

(1) 本時の目標

○欧米から進んだ文化や技術を取り入れることで経済発展を促した渋沢栄一の国づくりへの思いを考える。【思考・判断・表現】

(2) 本時の展開

時配	学習活動と内容	○教師の指導と支援 ◆評価	資料
2	1 前時の学習を振り返り、欧米の文化や技術を学ぶようになった時代背景について確認する。	○薩長同盟が結ばれた経緯を想起することで、欧米から文化や技術を学ぼうと考えた人がいたことを振り返れるようにする。	
5	2 渋沢栄一が欧米視察で見た進んだ文化や技術と当時の日本の様子を比較し、本時のめあてをもつ。 ・欧米は日本のように生活面で規制されておらず、自由な生活ができていていると思う。 ・日本よりも文化や技術が進んでいると思う。	○資料1では、新1万円札の顔になる渋沢栄一も欧米視察に行ったことを伝える。 ○資料2と既習の掲示物を見て、日本と欧米の違いについて考えるように促す。	資料1 「新1万円札の見本」 資料2 「渋沢栄一が欧米で見たもの」 既習の掲示物
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                 欧米に学んだ渋沢栄一は日本をどのような国にしたいと考え、何をしたいだろう。             </div>			
10	3 資料3、4、5を参考にしながら、欧米から帰国した渋沢栄一が経営に携わった富岡製糸場について調べる。 <b>外観の様子</b> ・江戸時代と建物が違う。 ・木ではなく、煉瓦で建物が作られている。 ・障子ではなく、窓がある。 <b>内部の様子</b> ・手作業ではなくなり、機械が並んでいる。 ・人が大勢いて、多くの糸が作れそう。 ・外国人が技術を教えているように見える。 <b>渋沢栄一が経営した会社や組織</b> ・富岡製糸場と関係のある会社を営んでいる。	○江戸時代の製糸業との違いに気付けるように、調べるように既習の掲示物と見比べて調べるように伝える。 ○機械技術を用いた大量生産の方法を外国人から教えてもらったことに気付けるように、資料3の外国人技師がいることをおさえる。 ○資料4で生糸の生産量が大幅に多くなっていることから、機械技術の導入によって大量生産が可能となったことをおさえる。 ○経済発展を促した渋沢栄一の功績に気付けるように、資料5で富岡製糸場と関わりのある会社を支援したことを提示する。	資料3 「富岡製糸場」 資料4 「生糸の生産量のグラフ」 資料5 「渋沢栄一が経営した会社や組織」

<p>15</p>	<p>4 調べたことをもとにして、渋沢栄一がどのような国づくりを目指したのかをグループごとに考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・煉瓦会社やガラス会社を営んでいるので、富岡製糸場のような工場をたくさん作って工業の盛んな国にしようとしたのではないか。</li> <li>・外国人を招いたので、外国との交流や貿易を盛んな国にしようとしたのではないか。</li> <li>・機械を活用して何でも大量生産ができる国にしようとしたのではないか。</li> <li>・富岡製糸場で必要な物を作る工場を作っているので、富岡製糸場の儲かるのに乗かって金持ちな国を目指したのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料をもとにしてわかったことをベン図にまとめる。</li> <li>○ベン図の左円に「富岡製糸場」の資料からわかったことを書き出す。(A)</li> <li>○ベン図右側に「渋沢栄一が経営した会社や組織」からわかったことを書き出す。(B)</li> <li>○(A)と(B)の共通点をベン図の中心部に書き出す。(C)</li> <li>○(C)の部分から渋沢栄一がどのような国づくりを目指していたのかを考え、グループでまとめるように促す。</li> </ul> <p>◆資料から読み取った事実を関連付けて、渋沢の国づくりへの思いを考えている。【思考・判断・表現】</p>	
<p>8</p>	<p>5 グループでの話し合いをもとに学級全体で話し合う。</p> <p>〈キーワード〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機械技術を取り入れて大量生産を可能にした。</li> <li>・富岡製糸場の関連会社の経営を支援したり、銀行を作ったりして経済発展を促した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人で本時のまとめを自分の言葉で書くことができるように、キーワードを全員で確認する。</li> <li>○明治政府の殖産興業にもつながることをおさえる。</li> </ul>	
<p>5</p>	<p>6 本時の学習を振り返り、まとめをする。</p>	<div data-bbox="266 1508 1270 1621" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>欧米の進んだ機械技術を取り入れて大量生産を可能にしたり、多くの会社を営んだりして経済発展を促し、欧米に追いつこうとしながら国づくりを進めた。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○明治政府は殖産興業以外にどのようにして国づくりを進めたのかを問いかけ、次時の学習へとつなげる。</li> </ul>	